

申したいことがたくさんありますが時間が来ましたから他日に譲つて今日はこれで止めて置きます

實科高等女學校家事實習教授細目

技四 蜂 谷 麟

西 館 ト メ

加 茂 ツ ヤ

下 田 ノ ブ

實科高等女學校が設置せられてから未だ年月も浅いことでございますので自然學科に置きましても十分ゆきといっていない様でございますそこで私たちは此度家事實習の教授細目を理想的に作りて見たいと思ひまして此研究にとりかゝつたのでございますけれど實科にも二ヶ年三ヶ年、四ヶ年と各々程度が異て居りますので其等にも適し又農家の地方商家の多い地方にも適す様に種々作つて見たいと思ひましたが何分研究の日數もございませんでしたので今度は四ヶ年程度の農家に於けるものを標準として作つて見たのでございます。實習に重きを置きましたので時間の都合上一年より家事科を置きました二學年で家事實習を授け三年より二ヶ年間理論と調理法を授ける心算でございますこれをこれから皆さんに御紹介しざつと説明して置きました成可皆様

から澤山に御批評を伺ひたいと存じます。

第一學年細目

第一學期			第二學期			第三學期		
週	教授事項	時間	週	教授事項	時間	週	教授事項	時間
一	家事實習の心得	二	一	塗物器具の取扱	二	一	洗濯用具の掃除方	二
二	身體の清潔	二	二	床飾品の掃除 置物掛物、花臺等	二	二	ハンカチ、エリ洗方及仕上げ	二
三	同	二	三	金屬器具の磨方 佛器裝飾品	二	三	白木綿の洗方 前かけ、襦袢シャツ敷布	二
四	雑巾指	二	四	灰汁洗石鹼洗	二	四	足袋洗ひ	二
五	塵拂の作方	二	五	障子紙つき糊作り	二	五	足袋繕ひ方	二
六	室内掃除法日本間	二	六	同張り方 切り張り 繕ひ張り	二	六	同	二
七	便所の掃除法	二	七	襖の掃除法及繕ひ方 硝子窓掃除法	二	七	靴下洗濯及補綴	二
八	農具及蠶具掃除法	二	八	傘提灯の取り扱方 わらじ扱方	二	八	同	二
九	其時期に於ける心掛	二	九	下駄下駄洗ひ 緒の繕ひ方	二	九	汚點拔茶、墨、血	二
十	物置馬小屋の整頓	二	十	同たて方	二	十	同但し絹物	二

第二學年細目

十一	煙草盆、火鉢掃除 たほひ作り	二	十一	靴みがき 進物の包水引のかけ方	二	十一	復習	二
十二	木製器具取扱	二	十二	小包の作り方	二			
十三	ランプ掃除 瓦斯燈電燈	二	十三	大掃除(すゝ拂ひ)	二			
十四	休中の注意 虫干の注意	二	十四	同疊の手入取扱ひ	二			
			十五	暖爐のさびどめ こたく、しちりん等	二			
			十六	復習	二			
週	第一學期	週	第二學期	週	第三學期	週	教授事項	時間
一	單衣物の丸洗	二	一	絹布洗濯リボン、レース、ビ ロード、ちりめんゆのし法	二	一	臺所掃除(流し)	二
二	全糊の作り方及び つけ方	二	二	同洗濯(銘仙) 簇張	二	二	同(戸棚)	二
三	同仕上げ	二	三	同	二	三	陶器洗方 硝子器洗方	二
四	木綿物洗濯 蒲團の類	二	四	毛織物洗濯 メリンス毛布襦袢	二	四	庖丁、ナイフ、洗方、磨方 後始末方	二
五	糊付ズラ干	二	五	同	二	五	銅真鍮及ブッキ 磨方	二

第一學年第一學期の二週目に身體の清潔といふのを置きましたのは農家に於てはなか／＼子供の事にそう注意がゆきとゞきませんので不潔になり安く又まだ年少い子供でございませすから初めに教つておく必要があらふと思ひました。これが終りますと掃除法に移るのでございませす第第八週

六	木綿 解物、綿入及び單衣	二	六	中學生洋服洗濯 夏服	二	六	食後膳部付方	二
七	同	二	七	同糊付及仕上げ	二	七	銀磨、鐵、洗ヒ方 飯櫃、組、洗ヒ方	二
八	ハギ合せ	二	八	裏地洗濯及簇なし張 (紅金布)	二	八	炭切り方 蠶紙(紙より) 歡世より等	二
九	同洗濯	二	九	板張練習 黒地木綿	二	九	廢物利用	二
十	板張り	二	十	紅絹洗濯色揚げ	二	十	同	二
十一	木綿洗濯、簇張	二	十一	女袴の色揚げ	二	十一	復習	二
十二	同	二	十二	同	二			
十三	同	二	十三	蚊帳の色あげ	二			
十四	復習	二	十四	同	二			
			十五	乾燥洗濯 エリテガラ	二			
			十六	復習	二			

第九週の頃は六月の初め頃で田植や養蠶で非常に忙しい時になるのでござりますから特に農具蠶具の掃除法また此時期に於ける心得、準備後始末各々其土地の状況に鑑みて授けたいと思ひます第十週の物置馬小屋の整頓これも馬小屋いたしました土地によりましては牛を多く使つてゐる處もありまた鶏の多い處もありませう處によつては豚を飼つてゐる處もありますからそれらを考へて教へます後三週間で日常使用する手近な器具の掃除方を教へまして第十四週に移ります。第二學期の第一週は塗物の最扱ひ方でワニス塗ペンキ塗漆塗と種々させて見たいと思ひます。第三週目の金屬器具の磨方では重に佛具に就てなし併せて鄭重に取扱はざるべからざることを知らしめませう後は別に説明することはございませぬ。第三學期より洗濯をなし此學期はまだ時候も寒い時でありますから多く小さなものを取扱はせることにいたしました。

第二學年になりまして第一學期第二學期もやはり洗濯の續きをさせますこれらの材料も成可日常家庭に於て多く取扱つて居るものを選びまして其上氣候の關係をも見て配列いたしました考へです。そして何分田舎のことでございますから色々それに用ふる立派な便利な機械が出来て居りませんが實際家庭ではそれを使用して居るのは皆無といつてよろしいのでございませうから只進歩したらしいふ便利な機械があるそしてこれはこういふ風に使はれるのであるといふことを知らせてお

く必要はございませうが從來家庭に於てして居る仕方ですそれを完全に手際よくさせる様示導してゆきたいと思ひます。

第三學期になりまして臺所のことに関して臺所及び器具の清潔整頓といふことを教へるつもりでございますこういふこともつと早く教へておきたいのでございませうが外の教材との都合上此學期にすることにいたしました然し又一方第三學年より割烹を初めますのでそれとの連絡についていひとも考へられましたので先づ三學期に置いたわけでございませう。而して後少し時間が残りませうので廢物利用といふことを教へ實習させまして而して實習期を終ります。

各地の物價に就て

技藝科二年 倉 田 島
白 田 其 壽
下 田 ス ミ
石 川 豊
福 澤 さ か へ

今度此問題をとりましたのは宮川先生の日頃の御説に依つて實際を知り經濟を考へなければなら